

わたしのたからもの

愛知県 名古屋市立豊岡小学校 3年
種井 さくら

わたしにはお兄ちゃん一人とお姉ちゃん二人がいます。だから、教科書は小学校にあがる前から手にとって読んでいました。

国語の教科書は分からない漢字に読みがなが書いてあったり、分からなくても下の方に意味や読み方などがのっていて、読んでいて楽しくおもしろかったです。

早く小学校に行って教科書がほしいなあと考えていました。

入学式も楽しみだったけれど、教科書が配られるのが待ちどおしかったです。

先生からくばられた教科書はピカピカでおり目がついていなく、早く家に帰って読みたいなあと思いました。

家に帰ると、さっそく教科書を読みました。一番に手にとったのは、図工の教科書です。なぜなら、わたしは絵をかいたり、ねん土で形をつくったり、あき箱やコップなどをつかって物を作るのが大好きだからです。

ようち園では、先生が前もって作ってくれた作品をお手本にして絵をかいたり、工作をしたけれど、小学校では教科書の写真を見て、ざいりょうや道具を自分でそろえて、作品が作れたので毎回ワクワクしてじゅぎょうにとりくみました。

お母さんに足りないざいりょうを用意してもらうのに教科書を見せることもしばしばありました。わたしは、せつめいがしやすいので教科書がなかったらせつめいが大へんだったな、教科書があってよかったなあと思いました。

今回、この作文を書くために、お母さんに一年生のときの教科書を出してもらいました。

わたしはお母さんが大事に教科書をとっておいてくれたことにおどろきました。また、大切にしておいてくれたことがうれしかったです。むかしの楽しかった思い出を思い出しました。

だから、すぐに図工の教科書を見ました。ねん土でリスのお家をつくったらじゅぎょうさんかんの時にお母さんにじょうずにできたねとほめられたことや、うさぎの町の工作画を作ったら作品てんに出してもらえたことなど思い出しました。どれも楽しい思い出がよみがえり、わたしはえがおになり、心がほんわかしてきました。

わたしの教科書は思い出のつまった絵のようであり、あたたかい言葉がつまった本のようです。わたしは本が大好きなので、本のように教科書もわたしの大切なお友だちです。

いままでもらった教科書とこれからもらう教科書のりょうほうを、大切にたかっていきたいです。